



東京湾再生官民連携フォーラム

「2018 年度シンポジウム 企業とNGO等との交流会」に参加

東京湾再生官民連携フォーラムは、去る 5 月 23 日、経団連自然保護協議会主催・経団連自然保護基金共催の 2018 年度シンポジウム「企業とNGO等との交流会」に参加した。

会場は経団連会館・2F ホールで開催、同日に、「企業とNGO等との交流会」が行われ、シンポジウムおよび交流会展示等に参加した。

企業とNGO等との交流会では、シンポジウム参加者、展示団体グループとの交流促進を図った。



←↑ 参加会場の模様



シンポジウムの基調講演には、慶應義塾大学政策メディア研究科蟹江教授が、「SDGs で主流化するビジネスと生物多様性」、昨年 25 周年を迎えた特別基金助成事業の支援先によるプロジェクト進捗報告が行われた。

さらに、企業 3 社による生物多様性保全への取り組み事例が発表され、多岐にわたる内容となるシンポジウムプログラム（図 シンポジウム等概要参照）が提供された。

引き続き会場を経団連会館の 4F に移し、「2018 年度 企業とNGO等との交流会」が実施された。会場は、20 団体の展示が行われ、フォーラムでは、「みんなの東京湾みんなで再生」活動 PR と共に各 PT 活動の説明を実施した。

参加団体は主に環境保全活動、生物多様性活動の大切さを幅広く実施している説明が、随所で見られ盛況のうちに閉幕した。



← 展示案内の説明

2018年度 シンポジウム 企業とNGO等との交流会

主催：経団連自然保護協議会

共催：公益信託経団連自然保護基金

日時：2018年5月23日

場所：経団連会館 2F国際会議場

<記念シンポジウム>

- ・ 基調講演：SDGsで主流化するビジネスと生物多様性
- ・ 公益信託経団連自然保護基金 2018年度支援プロジェクト紹介
- ・ 25周年記念特別基金助成事業「SATO YAMA UMIプロジェクト」進捗報告
- ・ 特別後援・生物多様性がもたらす地域社会への貢献
- ・ 事例発表
サントリーホールディングス、オリックス、住友林業による生物多様性保全への取り組み

<企業とNGO等との交流会>

- ・ 場所：経団連会館4F
- ・ 展示団体：20団体
- ・ ポスター/パネル展示、活動紹介など印刷物配布

図 シンポジウム等 概要